



4年 上田亜依さん

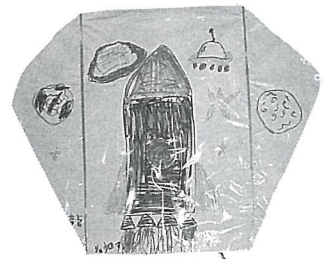


『インテリアボックス』

※周りの太さや形に気をつけて作ったのできれいな作品ができました。



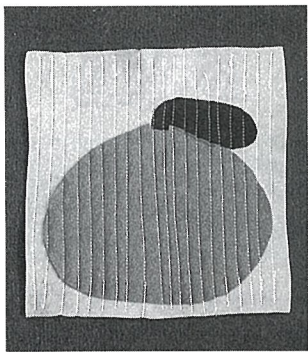
1年 實川龍之介くん



『たこ』

※ほくは、ロケットがとんでいるえをかきました。空たかくあがるといいな。

あつまれ みんなの力作



『なべしき』



5年 伊藤冬美さん

※初めてのミシンで、返しぬいが難しかったけど、上手になべしきが作れました。



『友だちとなわとび』

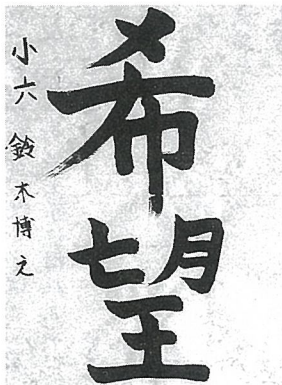


2年 伊藤千草さん

※てをつけるのがたいへんでした。



6年 鈴木博之くん



小六 鈴木博之

※難かしかつた所は、はねや止めです。よくてきた所は希の字です。



3年 伊藤友孝くん



『火の鳥』

※まわりの色にあわせて、火の鳥にした。ときどき、光るおりがみをはった。



ひかり歌壇

鈴木甲子幸 (白磯)

明日の会参加予定と書きし友急逝されぬ冷雨降り次ぐ

人生には予期せぬ悲嘆が訪れますね。哀悼。

越川 福子 (宮内)

節分会二人暮らして五十年愛す等とは聞かず云はざり

五十年共暮らしの仲には言葉以上に濃密に通ふ心がお在りでしょう。

土屋 好 (虫生)

陽のあたる山辺の一樹紅梅の真盛りなり明日は立春

紅梅よせて春めく季節感が明るく表現されました。

伊藤 鏡子 (虫生)

春めきて陽脚伸び来ぬ猫柳の銀の和毛の艶だちて来ぬ

作者のゆき届いた視線が感じられます。

短評 竹内 紀葉

評者詠

あり難き年の初めや健やかに在れよと受くる言の葉ぞよき